ＴＴＣ提案山行実施記録表（2019年３月30日 報告者　H.H ）

1.山行名	**大山（裏参道・イタツミ尾根経由）**
2.実施日	平成31年３月30日(土)　　日帰り　　公共交通機関利用
3.天候/参加人数	曇りのち晴れ　　レベル　★★☆　　参加者：７名（男５/女２名）
4.ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	省略
5.参加メンバー	省略
6.費用 **1,030円/人** **（本厚木駅発着）**	参加費：一人@1,030円（本厚木駅発着の場合） ※丹沢・大山フリーパス利用＝780円（本厚木駅発着の場合）

7.所要時間

	歩行時間	休憩時間	行動時間	
ガイドブック	5：20			8：25発→15：25着（7：00ｈ） ※衣服調整、立ち休憩は、５分未満の誤差時間に含めます。
計　画	6：05	1：35	7：40	
実　行	5：25	1：35	7：00	

実行コースタイム記録

（ﾄｲﾚ休）　0:50　　0:35　（ﾄｲﾚ休）　0:30
本厚木駅＝＝＝秦野駅（集合）＝＝＝蓑毛バス停・・・・蓑毛越・・・・阿夫利神社下社・・・・見晴台・・
7:13　7:31～50　8:12～25　9:15～25　10:00～10:30　11:00～11:05

1:00　0:20　（昼食）　1:00　（ﾄｲﾚ休）　1:10
・・・不動尻分岐・・・・大山山頂・・・・ヤビツ峠分岐・・・・蓑毛バス停＝＝秦野駅（解散）＝＝本厚木駅
12:05～05　12:25～13:00　14:00～14:15　15:25～27　15:55～15:58　16：15

コースの概要、特記事項、反省事項等

今回の山行は、ＮＨＫＢＳの登山番組「にっぽん百名山（花の百名山）」を見て、地元大山にもこのような登山ルートがあるのか、と感動して企画計画した。

山行当日は、朝から曇りがちで、小田急から見た丹沢の山々には、一面ガスがかかっていた。そのような中、休日はハイカーの長い行列ができる秦野駅前のバス停は、予想に反して行列も短く、余裕をもって乗ることができた。神奈中の話によると、バス待ちの行列は、当日の天気だけではなく、天気予報によって決まるとのことで、当日は雨の予報が出ていたので、登山客も少なく、ヤビツ行きのバスも臨時便なしで出発していった。

今回のコースは、前出の番組でのコースをたどるような形で計画したため、まず、蓑毛バス停そばの大日堂に立ち寄り、古（いにしえ）の大山詣でを思い浮かべながら進んだ。大日堂では、徳川家の葵の紋章の元となった「ランヨウアオイ（カンアオイ）」を鑑賞し、ソメイヨシノ、しだれ梅、ヤマルリソウ、ツボスミレなど、下社までの登山道に咲く早春の花々を探しながら進んだ。

下社では、休憩時間を利用して、ＳＫｉさんのリクエストでもある「スイーツ（とうふの抹茶ムース＆コーヒーセット）」を楽しんだ。ラッキーなことに山行当日の3/30から小田急のキャンペーンが始まるということで、１０時開店の参集殿で、数量限定のスイーツ第１号にありつけた訳で、ＳＫｉさんの情報通と顔の広さに感謝した。

次の休憩ポイントである見晴台から見上げた山頂には、一面にガスがかかり、雨も覚悟で出発した。しかし、その予想に反して、雨も降らず、登山道にもまったく雪は見当たらなかったため、３０分以上も早く大山山頂に到着した。また、途中、冷たい風のせいか、少し立ち止まるとすぐに寒くなったため、足早に進んだことや、ＳＴさんの健脚ぶりもあって、思いのほか登山は順調に進んだのであった。この時期には珍しく、山頂にはまったく雪が残っていなかったが、冷たい西風が吹いていたため、建物の陰に隠れるように昼食場所を探した。長居をするとすぐに体が冷えるので、昼食を取り終えると直ちに下山を開始し、イタツミ尾根に向かった。

イタツミ尾根の登山道は、まったく雪もなくて歩きやすく、標高の高いところでは、早春の花は少なかったものの、ヤビツ峠に近づくにつれ、アブラチャンの黄色い花やマメザクラと思しき桜がほぼ満開となっていて、時折春を感じさせてくれた。

イタツミ尾根の終着地点であるヤビツ峠でトイレ休憩を取り、柏木林道へと進んだ。歩き始めの柏木林道は、崩落が進んで少し危険な個所もあったが注意して進み、和気あいあいと世間話に花が咲き、シジュウカラやウグイスなどの小鳥たちのさえずりにも負けないくらい楽しく下って行った。

「髭僧の滝」分岐あたりは、蓑毛まであと２０分の所であるが、驚いたことに見事なミツマタの群落地となっており、

思わず立ち止まって皆、思い思いに写真を撮っていた。
　このように順調に進み、ゴールの蓑毛バス停には、４０分以上も早く到着し、バスに揺られて早々に秦野駅で解散した。

　今回の山行では、例年になく雪が残っておらず、登山道が歩きやすかったこと、天気予報が２、３日前までは、雨の予報だったため登山者が少なかったことなどが幸いし、順調に行動できました。また、ＳＴさんの健脚ぶりには一同感嘆し、私自身もかくありたいと思った次第です。
　若干、早めに歩行してしまったこと、予想が良いほうに外れて雨具やアイゼンなどが荷物になってしまったことをお許しいただき、筆をおきたいと思います。

　参加者の皆様、ご協力ありがとうございました。

＜以上＞